（案）　　資料３

旭市立矢指小学校学校再編地域検討会議　検討結果

旭市学校再編基本方針の（仮称）旭地域南小学校について、旭市立矢指小学校 学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

富浦小と矢指小を統合することに**「賛成」**

統合校の位置について、矢指小学校は**「概ね賛成」**

第一中学校は**「概ね反対」**

【検討の経緯と理由】

矢指小学校は、明治 10 年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校であるが、近年の少子化で児童数は令和８年度には 102 名となり、さらに減少していくことが見込まれている。

会議の中では、児童数が減少しているため統合はやむを得ないという意見が多数であり、富浦小と矢指小を統合することに賛成となった。

統合校の位置：矢指小学校

矢指小学校を統合校として活用することについては、統合のスピード感、費用面、施設の経年状況に加え、平屋建てでバリアフリー構造による有事の際の避難のしやすさなどから、大半が「賛成」とする意見であった。

統合校の位置：第一中学校

第一中学校を統合校として活用することについては、統合までに要する期間や学区外に位置していることなどを理由に「反対」とする意見が多く見られた。一方で、垂直避難が可能という利点や、小中一貫校の可能性を考慮し、留保的な意見もあった。

その他の意見

・統合校の位置を矢指小にする場合には、その課題についても地域と一体となって考えていかなければいけない。
・見通しの悪い道路に横断歩道や信号を付けるなど、通学路の整備が必要。
・統合にあたっては、両地域の意見を聞いて、多くの人が納得できるように進めてもらいたい。

令和８年　月　日
旭市教育委員会